



嘔吐

嘔吐を繰り返す時は
重い病気のことあり

考えられる主な病気

『発熱がある』 かせ 髄膜炎・脳炎

『腹痛や下痢もある』 食中毒 **嘔吐下痢症** 虫垂炎 腸重積(血便・間欠的腹痛)

『その他』 自家中毒 咳込み 頭部打撲後 食物アレルギー

嘔吐したら

- ・ 吐いたものがつまらないよう
横向きに寝かせる
- ・ 嘔吐してすぐに経口させない
- ・ 落ち着いてから少量ずつ水分を

すぐに保護者に連絡が必要な場合

- ・ 嘔吐(おう気)を繰り返す
- ・ 激しい頭痛・腹痛
- ・ 血便
- ・ おなかが張っている
- ・ 顔色が悪い
- ・ おしっこが少ない 唇がかさかさに乾燥
- ・ ぐったり 意識障害
- ・ 頭部打撲後



下痢

食中毒
嘔吐下痢症
食物アレルギー
抗生物質による下痢など

下痢が数回で機嫌よく、食欲がある場合はあわてない
周囲に感染する可能性があるため、手洗いや消毒を念入りに

下痢がひどい場合

- ・油もの 牛乳 柑橘類はさける
- ・こまめに水分補給(OS1など)
- ・トイレ後の手洗いや消毒

すぐに保護者に連絡が必要な場合

- ・下痢が激しく、ぐったり
- ・激しい腹痛や嘔吐を伴う時
- ・血便

* 便秘がちな子はトイレを我慢させないこと！
我慢すると便意が治まるため意識的にトイレに誘う

アナフィラキシー

アレルギー反応のうち、最も重症（生命の危険あり）

通常原因物質と接触して30分以内に起こる

じんましんに加えて、**ゼイゼイ**、**呼吸困難**などの症状
嘔吐や**意識がうすれる**

アナフィラキシーを疑う時は、すぐに医療機関へ搬送！



じんましん

他の先生達を集める(手分けして迅速に)
救急車の手配
保護者の連絡
こどもに付き添い、目を離さない



これはけいれんのときも同様の対応

1 日頃からの準備

- 内服薬やエピペン®はすぐに取り出せる場所に保管する(残量や使用期限を定期的に確認する)
- 外出するときは必ず内服薬やエピペン®を携帯する
- 受診するタイミングとどこの医療機関に受診するかを主治医とあらかじめ決めておく

2

何らかのアレルギー症状がある
(食物の関与が疑われる)

原因食物を食べた
(可能性を含む)

原因食物に触れた
(可能性を含む)

呼びかけに対して
反応がなく、
呼吸がなければ
心肺蘇生を行う
(P18 参照)

3

緊急性が高いアレルギー症状はあるか? 5分以内に判断する

全身の症状

- ぐったり
- 意識もうろう
- 尿や便を漏らす
- 脈が触れにくいまたは不規則
- 唇や爪が青白い

呼吸器の症状

- のどや胸がしめ付けられる
- 声がかすれる
- 犬が吠えるような咳
- 息がしにくい
- 持続する強い咳き込み
- ゼーゼーする呼吸

消化器の症状

- 持続する強い(がまんできない)お腹の痛み
- 繰り返し吐き続ける

1つでも当てはまる場合

ない場合

4

緊急性が高いアレルギー症状への対応

- ①ただちにエピペン®を使用する
- ②救急車を要請する(119番通報)
- ③その場で安静にする
- ④その場で救急隊を待つ
- ⑤可能なら内服薬を飲ませる

反応がなく
呼吸がない

心肺蘇生を行う

反応がなく
呼吸がない

※エピペン®が2本以上ある場合
(呼びかけに対する反応がある)

エピペン®を使用し10~15分
後に症状の改善がみられない場
合、次のエピペンを使用する

5

内服薬(P20 参照)を飲ませる

()

()

安静にできる場所へ移動する

少なくとも5分ごとに症状を観察する
症状チェックシート(P16参照)に
従い判断し対応する

緊急性が高い症状の出現には特に
注意する

即時型食物アレルギーの薬



①内服薬

1)抗ヒスタミン薬

(効果まで30分～1時間) **蕁麻疹**に効果あり

2)気管支拡張薬(効果まで30分以上)

ゼイゼイに効果あり

3)ステロイド薬

(効果まで4～6時間 **遅い!**)

数時間後に再発する遅発型アレルギーを予防

1)+3) セレスタミン

②自己注射薬

エピペン(効果までの時間**速やか**)

持続時間は20分

○血圧を上げる

○皮膚の赤みや喉の浮腫を軽減

○気管支をひろげて呼吸困難を軽減

口の周りに少し蕁麻疹が
でる程度であれば経過観察で
よい

アナフィラキシーショックを疑う場合

下記の症状が1つでもあれば(迷ったら打つ！！)

消化器症状

- 繰り返し吐き続ける
- 持続する強い腹痛

呼吸器症状

- のどや胸が締め付けられる
- 声がかすれる
- 犬が吠えるような咳
- 持続する強い咳きこみ
- ゼーゼーする呼吸
- 息がしにくい

全身の症状

- 唇や爪が青白い
- 脈がふれにくい
- 意識がもうろうとしている
- ぐったりしている
- 尿や便をもらす

すぐに(5分以内)

エピペンを
モモに
注射する！



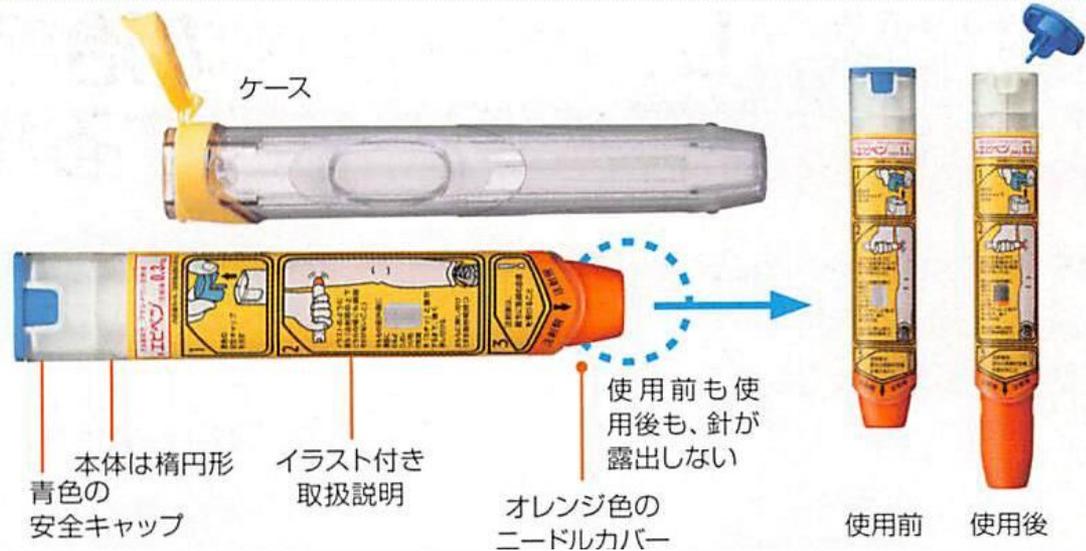
直ちに**救急車**を呼びましょう

エピペンについて

● エピペン® の外観



相州・フジノギ株式会社



エピペンの打ち方

◆それぞれの動作を声に出し、確認しながら行う

① ケースから取り出す



ケースのカバーキャップを開け
エピペンを取り出す

② しっかり握る



オレンジ色のニードルカバーを
下に向け、利き手で持つ

"グー"で握る!

③ 安全キャップを外す



青い安全キャップを外す

④ 太ももに注射する



太ももの外側に、エピペンの先端
(オレンジ色の部分)を軽くあて、
"カチッ"と音がするまで強く
押しあてそのまま5つ数える

注射した後すぐに抜かない!
押しつけたまま5つ数える!

⑤ 確認する



使用前 使用後

エピペンを太ももから離しオ
レンジ色のニードルカバーが伸
びているか確認する

伸びていない場合は「④に戻る」

⑥ マッサージする



打った部位を10秒間、
マッサージする

介助者がいる場合



介助者は、子どもの太ももの付け根と
膝をしっかり押さえ、動かないように
固定する

注射する部位

- ・衣類の上から、打つことができる
- ・太ももの外側の筋肉に注射する
(真ん中 (A) よりも外側で、かつ
太ももの付け根と膝の間の部分)

あおむけの場合



座位の場合



**投与部位に
なにもないことを確認する**

投与部位に重なってしまうポ
ケットの中を確認しましょう

**投与する前には、
必ず子どもに声をかける**

エピペン® は振り下ろさない

振り下ろしている瞬間に子ども
が動いてしまい正しく打てないお
それがあるので、軽く押しあてた
状態から、押しつけましょう

投与した薬剤が速やかに吸収さ
れ速く効果が現れるようにするた
めに、投与部位をもみます。

けいれん

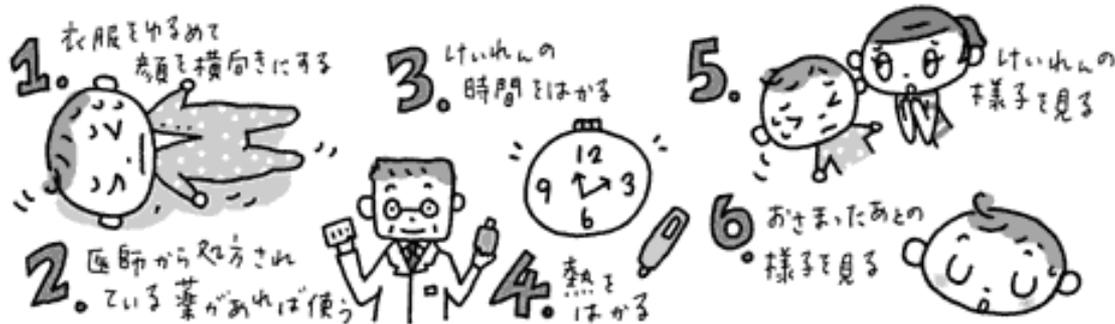
けいれんが起きたら・・・処置の仕方

* 観察ポイント

- ① 体を横向きにして誤嚥防止
- ② 衣服をゆるめて、呼吸しやすく
- ③ けいれんの時間や様子を観察

- NG**
- ・口にスプーンやタオルを詰める
 - ・揺らしたり押さえつける

- ・どれくらい続いているか？
- ・熱があるか？
- ・どの部分がどのように動いていたか？
- ・顔色・めつきは？
- ・意識・反応があるか？
- ・嘔吐を伴ったか？



けいれん

【 救急車を呼ぶ時 】

- ・ はじめてのけいれん
- ・ 1歳未満のけいれん
- ・ けいれんが5分以上を続く
- ・ けいれんが止まったが・・・

意識がもどらない
めつきがおかしい
顔色不良が続く
再びけいれん

ぼーとしている
呼吸がおかしい
何回も嘔吐する

- ・ 手足に麻痺が残る
- ・ 頭部打撲後

判断に迷うときは
救急要請



けいれん

保育園・幼稚園における けいれん対応マニュアル

～熱性けいれんを中心に～

平成 29 年 3 月

福岡市医師会

保育園・幼稚園保健部会

マニュアルを確認し、シミュレーションしましょう

熱中症

体に熱がこもってぐったりした状態になること

原因

汗がかけなくなることで、体温調整ができなくなるために起こる
気温が32℃以上、湿度60%以上の環境
水分補給不足
運動

症状

熱けいれん（筋肉のけいれん）
熱疲労（頭痛・めまい・吐気）
熱射病（ぐったり・意識障害）

治療

風通しの良い場所で寝かせる 水分補給
体を冷やす（体に水をかける）
扇風機をあてる
ぐったりして意識障害→救急車をすぐに呼ぶ

予防

帽子をかぶる
時々涼しい所で休む
十分な水分補給



この子たちを見落とさないで

発達障がい

1. 知的障がい
2. 限局性学習障がい
3. 自閉スペクトラム症
4. 注意欠如・多動症



この年齢なら、こんな子もいるよね

本当にそうでしょうか？

自閉スペクトラム症

自閉症って!?



耳をふさぐ (大きい音、声に反応)



気に入ったものを執着して並べる



ひとり言をくり返しゃべる



オーム返しの言葉



体を揺らしながら奇声をあげる



理由不明のかんしゃく

- ①社会性の障害、②コミュニケーションの障害、③想像力の障害、④感覚過敏・鈍麻、⑤こだわりなどあるが、実際は十人十色で困り感は異なる

例えば、
ルールが守れない
落ち着きがない
他の子と関わらず、独りで居ることが多い
他の子とトラブルになることが多い
行事に参加できない
パニックを起こす

本人が何に困っているかを良く観察する
大切なのは成功体験をすること

医療機関受診を勧めましょう

虐待

1 身体的虐待

なぐる、ける、溺れさせる、異物を飲ませる、火傷をさせる、冬や夜間に戸外に閉め出すなどの生命に危険を及ぼす行為。

2 性的虐待

子どもへの性交、性的暴行、性的行為の強要など。性器や性交を見せる、わいせつな写真などの被写体となることを強要する行為など。

3 ネグレクト(養育の怠慢・拒否)

適切な食事を与えない、下着などを長期間不潔なままにする、極端に不潔な環境の中で生活をさせる、病気になっても病院に連れて行かない、学校に通学させない、乳幼児を家に残したまま度々外出したり、車の中に放置するなど子どもの健康状態や安全を損なう行為をすること。また、子どもを遺棄すること。

4 心理的虐待

言葉による脅かしや脅迫、子どもの心を傷つけることを繰り返し言ったり、子どもを無視したりする行為。また、子どもに拒否的な態度を示すこと、他の兄弟とは著しく差別的な扱いをすること。子どもの目の前で配偶者等に暴力をふるうこと。

虐待かも と思ったら いち早く 189番へ

189番にかけると
お近くの児童相談所につながります。



1. 子供の泣き叫ぶ声が頻繁に聞こえる
2. 不自然な外傷(あざ、打撲、やけどなど)が見られる
3. 極端に粗末、汚れたままの服を着ている。冬などでは、寒い日にも薄着でいる
4. 食事に異常な執着を示す
5. 理由もなく、幼稚園、保育園や学校を休みがちである
6. 異常な虫歯
7. 低身長、低体重
8. 眠らない
9. 過度のかんしゃく

体罰は法律で禁止されています



なぜ
体罰等は
いけないの？

- 体罰等が繰り返されると、子どもの心身の成長・発達にさまざまな悪影響が生じる可能性があります。
- これは科学的にも明らかになっています。



しつけと
体罰は
どう違うの？

- しつけとは、子どもの人格や才能等を伸ばし、自律した社会生活を送れるようにサポートしていくことです。
- そのためには、体罰ではなく、どうすればよいのかを言葉や見本を示すなど、本人が理解できる方法で伝える必要があります。

こんなことしていませんか

- 何度も言葉で注意したけど言うことを聞かないので、頬を叩いた
- いたずらをしたので、長時間正座をさせた
- 宿題をしなかったので夕食を与えなかった

▶▶▶ 全て体罰です。

※逆に飛び出しそうな子どもをつつかむといった子どもを保護するための行為などは該当しません。

子育ては
いろいろな
人の力と共に



- 子どもを育てる上では、支援を受けることも必要です。市区町村などが提供している子育て支援サービスを積極的に活用しましょう。
- 子育ての大変さを保護者だけで抱えるのではなく、少しでも困ったことがあれば、まずは、お住まいの市区町村の子育て相談窓口や保健センターなどへ相談しましょう。
- 子育て中の保護者に接するみなさんで、子育て中の保護者が孤立しないようにサポートしていきましょう。
- 保護者だけで抱え込まないように、声かけや支援を行い、市区町村や児童相談所などとも連携して社会全体で支えていく必要があります。

子どもが持っている権利

- 大人に対して叩く、咬む、暴言を吐くといったことは人格侵害になりますが、これは子どもも同じです。
- 子どもも人権の主体であり、全ての子どもには、誰かから威嚇・脅迫し、自立する権利が保障されています。
- 保護者は、子どもを心身ともに健全に育成することに、一時的責任を負います。



詳しくは

「体罰等によらない子育てのために
～みんなで育児を支える社会に～」
<http://www.mhlw.go.jp/content/11100000/11100000a0000000.pdf>



ご相談は

まずはお住まいの市区町村の子育て相談窓口へ

虐待かもと
思ったら

児童相談所
虐待対応
ダイヤル
(通話料無料)

いち は や く
189

※一部の携帯電話からはつながりません。

虐待かもと思った場合などに、すぐに児童相談所に連絡・相談ができる全国共通の電話番号です。「児童相談所虐待対応ダイヤル「189」」にかかるとお近くの児童相談所につながります。通話・相談は、匿名で行うこともでき、通話・相談をした人、その内容に関する情報は守られます。

体罰等によらない
子育てを
広げよう！

2020年
4月から
法律が
変わります！



みんなで育児を支える社会に

子どもへの体罰は法律で禁止されます。体罰等によらない子育てを推進するため、子育て中の保護者に対する支援も含めて社会全体で取り組んでいきましょう。



参考資料

日本小児科学会HP

「学校、幼稚園、認定こども園、保育所において予防すべき感染症の解説」

高齢者施設での衛生管理

学校における新型コロナウイルス感染症に関する
衛生管理マニュアル

「学校の新しい生活様式」
(文部科学省のHP参照)

ご清聴ありがとうございました